	工業高寺	専門学校	開講年度 令和03年度 (2	7021年度) 拐	業科目	ネットワーク論 I				
科目基礎		<u> </u>	ארן פסטונו אין נופנוק	10211/2/	CACITE	1 2 1 2 2 11111 1				
科目番号	ATCII	0142		科目区分	専門 / 必修					
授業形態		授業		単位の種別と単位数 履修単位:						
開設学科		電気情報コ		対象学年	4					
開設期		前期		週時間数	2					
教科書/教林	才	竹下隆史,	村山公保, 荒井 透, 苅田幸雄「マ							
担当教員		舩木 英岳								
到達目標	Ę									
2 プロト 3 LANの 4 TCP/I 5 TCP/I	・コルの階層 対構成に必要 Pプロトコル P各層に関	層化の概念に1 夏な機器につい ル体系につい	既念について説明できる ついて説明できる いて説明できる て説明できる な規約や技術について説明できる							
ルーブリ	ック		四相的 12 7 1 7 D D D			ナがきしがリのロウ				
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安 LANおよびインターネットの概念				
評価項目1			LANおよびインターネットの概念 について説明できる	LANおよびインターネットの概念 について大まかに説明できる		について説明できない プロトコルの階層化の概念につい				
評価項目2			プロトコルの階層化の概念について説明できる	プロトコルの階層化の概念について大まかに説明できる		て説明できない				
評価項目3			LANの構成に必要な機器について 説明できる	LANの構成に必要な機器について 大まかに説明できる		LANの構成に必要な機器について 説明できない				
評価項目4			TCP/IPプロトコル体系について説明できる	TCP/IPプロトコル体系 まかに説明できる		TCP/IPプロトコル体系について説明できない				
評価項目5			TCP/IP各層に関係する標準的な規約や技術について説明できる	TCP/IP各層に関係する 約や技術について大ま きる	標準的な規 かに説明で	TCP/IP各層に関係する標準的な規約や技術について説明できない				
		目との関係	· 系	,		.				
^{学習・教育} 教育方法	到達度目標	₹ (H)								
		【Course Objectives】 Students will be able to understand the following: 1. Layer structure of the communication protocol 2. Network connection devices 3. TCP/IP protocol system								
授業の進め方・方法		講義を中心	講義を中心に授業を進める。主にセンタモニタを使用して説明していく。講義の間に,重要な内容について適宜学生に質問して,理解しているかどうかを確認する。また、必要に応じて時間外学習としてレポート課題を課す。 【学習方法】 1. 事前にシラバスを見て教材の該当個所を読み,疑問点を明確にする。 2. 授業では,センタモニタの説明は必ずノートにとり,わからないところがあれば質問する。質問に答えられるよう							
授業の進め	方・方法	 【学習方法 1.事前に	理解しているかどうかを確認する。 夏に応じて時間外学習としてレポート 法】 ニシラバスを見て教材の該当個所を読	課題を課す。 み、疑問点を明確にする	٥					
授業の進め	方・方法	【学習方法 1.事前に 2.授業で にする。	理解しているかどうかを確認する。 夏に応じて時間外学習としてレポート 法】 ニシラバスを見て教材の該当個所を読	課題を課す。 み, 疑問点を明確にする トにとり, わからないと	。 ころがあれに					
授業の進め	方・方法	【学習方法 1.事前に 2.授業で にする。 3.授業に 【定期試験	理解しているかどうかを確認する。 要に応じて時間外学習としてレポート 法】 こシラバスを見て教材の該当個所を読 ごは,センタモニタの説明は必ずノー	課題を課す。 み, 疑問点を明確にする トにとり, わからないと	。 ころがあれに					
授業の進め	からから 方法	【112年 12年 12年	理解しているかどうかを確認する。 要に応じて時間外学習としてレポート を こシラバスを見て教材の該当個所を読 では、センタモニタの説明は必ずノー に関連したレポート課題を、復習を兼 の実施方法】 で行う。試験時間は50分とする。 呼価方法・評価基準】 をともに定期試験の成績を60%、レポ を にの評価の平均値を総合の減点とする。 に基づき、ネットワークの概念、プロプロトコル体系、TCP/IP各層に関係す	課題を課す。 み, 疑問点を明確にするトにとり, わからないとなた自己学習の一環としまた自己学習の一環としまた自己学習の一環としまた。	。 ころがあれに て課す。 を40%とし	「質問する。質問に答えられるよう ける。質問に答えられるよう 、その合計を100点 満点として評				
	の方・方法	【1. す. に は で は で で で で で で で で で で で で で で で で	理解しているかどうかを確認する。要に応じて時間外学習としてレポート。要に応じて時間外学習としてレポート。 は】 こシラバスを見て教材の該当個所を読では、センタモニタの説明は必ずノーに関連したレポート課題を、復習を兼定の実施方法 を行う。試験時間は50分とする。 平価方法・評価基準】 まともに定期試験の成績を60%、レポートでは、欠席1回につき2点の減点とする。に要づき、ネットワークの概念、プロプロトコル体系、TCP/IP各層に関係である。 こまでは、アクロトコル体系、TCP/IP各層に関係である。 こまでは、アクロトコル体系、TCP/IP各層に関係である。 こまでは、アクロトコル体系、TCP/IP各層に関係である。 こまでは、アクロトコル体系、TCP/IP各層に関係である。 こまでは、アクロトコル体系、TCP/IP各層に関係である。 こまでは、アクロトコル体系、TCP/IP各層に関係である。 こまでは、アクロトコル体系、TCP/IP各層に関係である。	課題を課す。 み、疑問点を明確にする トにとり、わからないと はた自己学習の一環とし 一ト課題(宿題を含む)。 トコルの階層化の概念、 する標準的な規約や技術	。 ころがあれに て課す。 を40%とし LANの構成に こついての理	「質問する。質問に答えられるよう , その合計を100点 満点として評 「必要な機器についての理解力 解と応用についての到達度を評価基				
	方・方法	【111 【中価中到 、準 【レる 【研内学・・・す・ 定末 成間す間達Tと 履ポ。 連究線 期試 績・る・目PPす 修一 絡究電 制制 制標/IP。 した 先室話 では、 は、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは	理解しているかどうかを確認する。 要に応じて時間外学習としてレポート。 法】 こシラバスを見て教材の該当個所を読では、センタモニタの説明は必ずノー に関連したレポート課題を、復習を兼定でする。 正関連したレポート課題を、復習を兼定でする。試験時間は50分とする。 平価方法・評価基準】 また、欠席1回につき2点の減点とする。にを評価の平均値を総合評価とする。 こ基づき、ネットワークの概念、プロプロトコル体系、TCP/IP各層に関係で	課題を課す。 み、疑問点を明確にするトにとり、わからないと ねた自己学習の一環とし 一ト課題(宿題を含む)。 トコルの階層化の概念、 する標準的な規約や技術 提出すること。指定され	。 ころがあれば て課す。 を40%とし LANの構成に こついての理 た期日より後	「質問する。質問に答えられるよう , その合計を100点 満点として評 「必要な機器についての理解力 解と応用についての到達度を評価基				
注意点		【11 2に3 関事授る授 期試 続・る・目です を で未 成間す間達Tと 履ポ。 連究線電記: は いる しる で いっ。 で に が の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。	理解しているかどうかを確認する。要に応じて時間外学習としてレポートには、シラバスを見て教材の該当個所を読では、センタモニタの説明は必ずノーに関連したレポート課題を、復習を兼定の実施方法とでする。試験時間は50分とする。平価方法・評価基準ともに定期試験の成績を60%、レポートでは、欠席1回につき2点の減点とする。に基づき、ネットワークの概念、プロトコル体系、TCP/IP各層に関係では、対象ができたが、対象が、対象ができたが、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象	課題を課す。 み、疑問点を明確にするトにとり、わからないと ねた自己学習の一環とし 一ト課題(宿題を含む)。 トコルの階層化の概念、 する標準的な規約や技術 提出すること。指定され	。 ころがあれば て課す。 を40%とし LANの構成に こついての理 た期日より後	「質問する。質問に答えられるよう , その合計を100点 満点として評 「必要な機器についての理解力 解と応用についての到達度を評価基				
注意点	性・履修	【112に3 【期 【中価中到、準 【レる 【研内e・助禁・業 試験 の期標IPです 修一 絡っ電調 区 履来 の と を と を と と を と と と と と と と と と と と と	理解しているかどうかを確認する。要に応じて時間外学習としてレポートには、シラバスを見て教材の該当個所を読では、センタモニタの説明は必ずノーに関連したレポート課題を、復習を兼定の実施方法とでする。試験時間は50分とする。平価方法・評価基準ともに定期試験の成績を60%、レポートでは、欠席1回につき2点の減点とする。に基づき、ネットワークの概念、プロトコル体系、TCP/IP各層に関係では、対象ができたが、対象が、対象ができたが、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象	課題を課す。 み、疑問点を明確にするトにとり、わからないと ねた自己学習の一環とし 一ト課題(宿題を含む)。 トコルの階層化の概念、 する標準的な規約や技術 提出すること。指定され	。 ころがあれば て課す。 を40%とし LANの構成に こついての理 た期日より後	「質問する。質問に答えられるよう 、その合計を100点 満点として評 「必要な機器についての理解力解と応用についての到達度を評価基 なに提出されたレポートは減点とす				
注意点		【112に3 【期 【中価中到、準 【レる 【研内e・助禁・業 試験 の期標IPです 修一 絡っ電調 区 履来 の と を と を と と を と と と と と と と と と と と と	理解しているかどうかを確認する。 要に応じて時間外学習としてレポート。 を	課題を課す。 み、疑問点を明確にするトにとり、わからないと ねた自己学習の一環とし 一ト課題(宿題を含む)。 トコルの階層化の概念、 する標準的な規約や技術 提出すること。指定され (アットマークは@に変	。 ころがあれば て課す。 を40%とし LANの構成に こついての理 た期日より後	「質問する。質問に答えられるよう 、その合計を100点 満点として評 「必要な機器についての理解力解と応用についての到達度を評価基 なに提出されたレポートは減点とす				
注意点 授業の属 □ アクテ	性・履修ィブラーニ	【112に3 【期 【中価中到、準 【レる 【研内e・助禁・業 試験 の期標IPです 修一 絡っ電調 区 履来 の と を と を と と を と と と と と と と と と と と と	理解しているかどうかを確認する。 要に応じて時間外学習としてレポート。 を	課題を課す。 み、疑問点を明確にするトにとり、わからないと ねた自己学習の一環とし 一ト課題(宿題を含む)。 トコルの階層化の概念、 する標準的な規約や技術 提出すること。指定され (アットマークは@に変	。 ころがあれば て課す。 を40%とし LANの構成に こついての理 た期日より後	「質問する。質問に答えられるよう 、その合計を100点 満点として評 「必要な機器についての理解力解と応用についての到達度を評価基 なに提出されたレポートは減点とす				
注意点	性・履修ィブラーニ	【11. The property of the pro	理解しているかどうかを確認する。 要に応じて時間外学習としてレポート。 を	課題を課す。 み、疑問点を明確にするトにとり、わからないとねた自己学習の一環として、 一ト課題(宿題を含む)。 トコルの階層化の概念、する標準的な規約や技術とはすること。指定されて、 「アットマークは@に変」 □ 遠隔授業対応	。 ころがあれば て課す。 を40%とし LANの構成に こついての理 た期日より後	「質問する。質問に答えられるよう 、その合計を100点 満点として評 「必要な機器についての理解力解と応用についての到達度を評価基 なに提出されたレポートは減点とす				
注意点 授業の属 □ アクテ	性・履修ィブラーニ	【112に3 【期 【中価中到、準 【レる 【研内e- 野事授る授 期試 績・る・目P/す 修一 終・電訓 区 類は	理解しているかどうかを確認する。 要に応じて時間外学習としてレポート。 法】 こシラバスを見て教材の該当個所を読では、センタモニタの説明は必ずノー に関連したレポート課題を、復習を兼定の実施方法】 で行う。試験時間は50分とする。 平価方法・評価基準】 まともに定期試験の成績を60%、レポートでは、欠席1回につき2点の減点とする。 の評価の平均値を総合評価とする。 に基づき、ネットワークの概念、プロプロトコル体系、TCP/IP各層に関係である。 ひ注意】 は必ず指定された期日の授業開始時に A棟3階(A-314) 8968 unakiアットマークmaizuru-ct.ac.jp	課題を課す。 み、疑問点を明確にするトにとり、わからないと ねた自己学習の一環とし 一ト課題(宿題を含む)。 トコルの階層化の概念がする標準的な規約や技術 提出すること。指定され (アットマークは@に変 □ 遠隔授業対応 週ごさ	。 ころがあれば て課す。 を40%とし LANの構成に こついての理 た期日より後	「質問する。質問に答えられるよう 、その合計を100点 満点として評 「必要な機器についての理解力解と応用についての到達度を評価基 なに提出されたレポートは減点とす				
注意点 授業の属 □ アクテ	性・履修ィブラーニ	【112に3 【期 【中価中到、準 【レる 【研内e- が で	理解しているかどうかを確認する。 要に応じて時間外学習としてレポート。 を注 こシラバスを見て教材の該当個所を読 では、センタモニタの説明は必ずノー に関連したレポート課題を、復習を兼 検の実施方法】 で行う。試験時間は50分とする。 平価方法・評価基準】 を行う。試験時間は50分とする。 平価方法・評価基準】 をともに定期試験の成績を60%、レポ をた、欠席1回につき2点の減点とする。 に基づき、ネットワークの概念、プロトコル体系、TCP/IP各層に関係する。 D注意】 は必ず指定された期日の授業開始時に A棟3階(A-314) 8968 unakiアットマークmaizuru-ct.ac.jp □ ICT 利用	課題を課す。 み, 疑問点を明確にするトにとり, わからないとねた自己学習の一環として、	。 ころがあれば て課す。 を40%とし LANの構成に こついての理 た期日より後	「質問する。質問に答えられるよう 、その合計を100点 満点として評 「必要な機器についての理解力解と応用についての到達度を評価基 なに提出されたレポートは減点とす				

		4週		データ	タリンク層~)	アプリケーション層	2						
		5週		ネット		i機器,レイヤ1機器(LANメディア		3					
		6週		レイヤ2機器(NIC、ブリッジ)、MACアドレス				3					
		7週	ļ	レイ† エイ)	73機器(ルー	タ),レイヤ4~7機器(ゲートウ		3					
2ndQ		8週	8週 中		中間試験								
		9週	9週 TO		TCP/IPの歴史			4					
		10週 T		TCP/IPの仕様書: RFC, TCP/IPの4階層			4						
		11週 IF		IP:IPアドレス,ネットワーク部とホスト部			5						
				IP:IPアドレスのクラス,IPアドレスの管理			5						
				IP : サブネットワークの分割, ネットマスク				5					
		14週 IP		IP:C	IP:CIDR, プライベートIPアドレスとNAT			5					
		15ì	15週 IP		IP: ARP			5					
		16ì	<u>周</u>	(15) 期末記	週目の後に期 試験返却・達成	未試験を実施) 戊度確認							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標													
分類 分野				学習内容	学習内容の到達目標	<u>=</u>			到達レベ	ル 授	業週		
基礎的能力	基礎的能力 工学基礎		情報リ シー	テラ	情報リテラ シー	情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握して 3 前				1,前2			
						プロトコルの概念を説明できる。			4		3,前4,前 前6,前7		
専門的能力	分野別 <i>0</i> . 門工学	の専 情報系分型		分野	情報通信ネットワーク	プロトコルの階層化の概念や利点を説明できる。			4		4,前5,前 前7,前 前10,前 1,前13,前 4,前15		
						ローカルエリアネッ	ネットワークの概念を説明できる。		4		1		
						インターネットの概念を説明できる。			4		2		
						TCP/IPの4階層について、各層の役割を説明でき、各層に関係する具体的かつ標準的な規約や技術を説明できる。			4				
評価割合													
試験		発	表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計					
総合評価割合 60				0		0	0	40	0	100			
基礎的能力 0			0			0	0	0	0	0			
専門的能力 60				0		0	0	40	0	100			
分野横断的能力 0				0		0	0	0	0	0			